



受企相第71号

平成28年9月20日

気高町観光協会

・会長 池原 隆秋様

気高町カイちゃんスタンプ会

会長 高田俊明様

浜村温泉商店会

会長 田中 勉様

浜村温泉観光道路街路灯組合

会長 牧野博文様

鳥取市気高町区長協議会

会長 西尾雅彦様

鳥取市老人クラブ連合会

気高町支部老人クラブ

会長 田中 平志郎様

キラリ☆浜村まちづくり協議会

会長 湯口史章様

鳥取市長 深澤義彦



「浜村温泉館」の存続に関する要望書（回答）

（対平成28年8月25日付け）

のことについて、別紙のとおり回答します。

【陳情・要望に関する担当】

鳥取市尚徳町116番地 鳥取市役所本庁舎

企画推進部地域振興局市民総合相談課 高山

Tel 0857-20-3158

E-mail shiminsoudan@city.tottori.lg.jp

【要望事項】

鳥取市の西側の日本海に沿って湧く浜村温泉は、かの小泉八雲が「不思議な程、渚に近い」と著書に記した海辺の温泉地で、開湯の歴史は古く、約500年前の室町時代から多くの湯治客が訪れたと伝えられています。鳥取県東部の5つの温泉から成るいなば温泉郷の一つで、民謡「貝がら節」の里でもあり、気高町を代表する観光資源で大きな役割を果たしてきました。

しかしながら近年、人口減少や少子高齢化のながれのなか、観光客のニーズの多様化に対応することができず、旅館の閉鎖や空き店舗が増加しています。そのようななか、一部の温泉旅館が再開するなど浜村温泉街として、まちのにぎわい再生のチャンスを迎えてています。

しかし、「浜村温泉館」が本年3月末の指定管理期間終了とともに一時休館となり、詳細な施設点検と改修を行うとした場合の経費を試算した結果を踏まえ、今後の施設のあり方が検討されると伺っています。

本町のにぎわいの創出や地域経済の活性化にとって、交流人口の拡大は非常に重要です。山陰道鳥取西道路の開通や気高道の駅(仮称)の整備などを好機ととらえ、民謡「貝がら節」をはじめとする歴史、文化や自然を受け継ぎ、浜村温泉を活かしたまちづくりを進め地域の活性化をはかり、気高地域のにぎわいを取り戻していきたいと考えています。そのためには「浜村温泉館」はなくてはならない重要な施設です。なくなることは、浜村温泉の衰退に拍車をかけ、「地域の宝」を失うことに繋がります。

鳥取市西部地域の観光振興、地域活性化及び浜村温泉、浜村温泉街の振興の観点から考慮いただき、「浜村温泉館」の早期再開を図っていただきますよう要望します。

【回答】

浜村温泉館については、現在、施設調査を実施しているところであり、本年10月末までに調査を終了する予定です。

この調査による施設の不具合状況及びその対応に要する概算費用の結果を踏まえ、地域の皆様のご意見も伺いながら、当施設の対応方針を検討したいと考えています。

【本件に関するご質問・お問合わせは下記まで】

経済観光部 観光戦略課 (電話番号: 0857-20-3227)